

経営比較分析表（令和6年度決算）

佐賀県 江北町

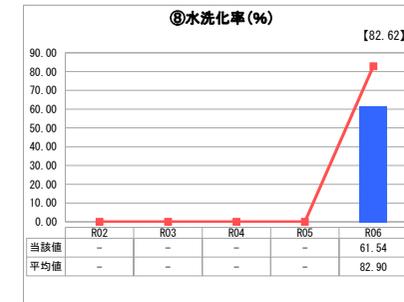
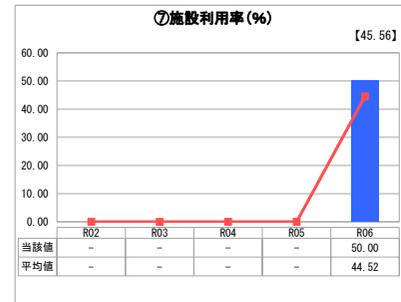
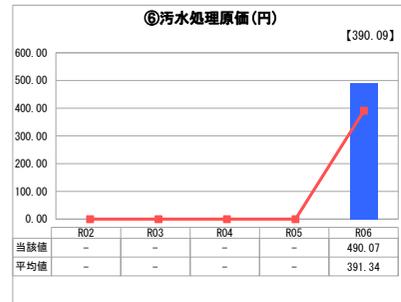
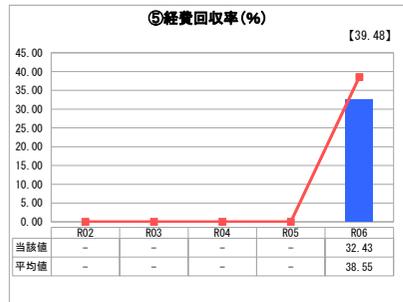
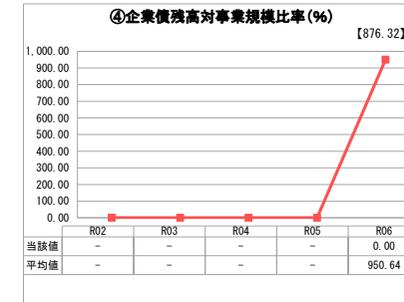
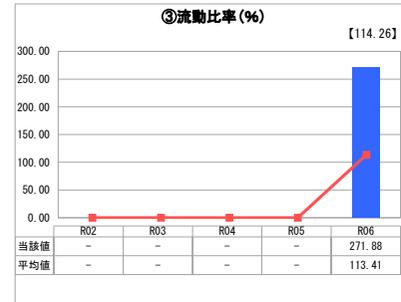
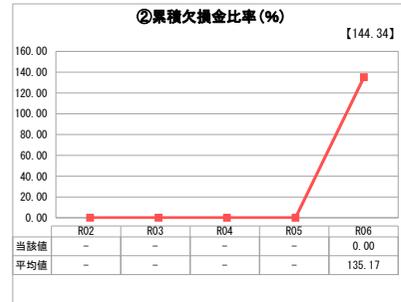
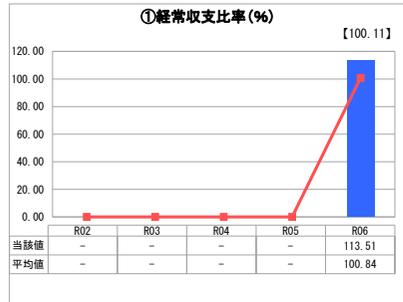
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	97.58	0.14	100.00	2,990

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,617	24.88	386.54
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13	0.03	433.33

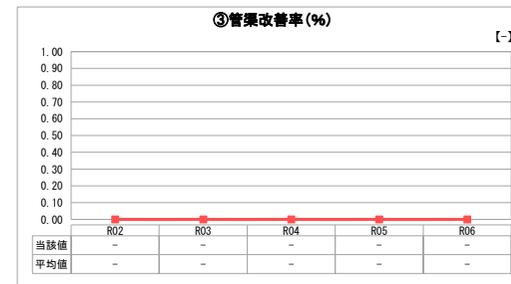
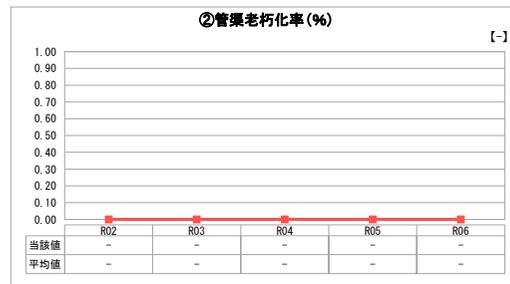
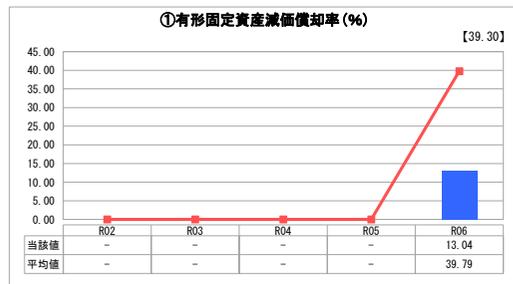
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度から地方公営企業法を適用したため、当該年度の数値の評価となる。

- ① 経常収支比率
100%を超えており単年度黒字である。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金は生じていない。
- ③ 流動比率
100%を上回っているため良好である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
一般会計から繰入をしているため0%となっている。
- ⑤ 経費回収率
類似団体平均値を下回っており、32%程度のため、費用の低減や下水道使用料の改定の検討が必要である。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体平均値よりも上回っているうえ、経費回収率が32%程度であるため費用の低減が必要である。
- ⑦ 施設利用率
類似団体平均値を上回っているが、合併浄化槽の管理基数が3基と少ないため、改善が難しい。
- ⑧ 水洗化率
類似団体平均値より下回っているが、R7年度にすべて接続となる見込みである。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
法適用を開始した令和6年度からの減価償却率のため、類似団体平均値より低くなっている。
- ② 管渠老朽化率
合併浄化槽のため管渠なし。
- ③ 管渠改善率
合併浄化槽のため管渠なし。

全体総括

個別排水処理事業は、物価高騰による費用の増大が見込まれることから維持管理費用の低減に努める。また管理基数が3基と少なく、人口減少した場合、使用料収入に大きく影響するため、経営の効率化・健全化を図る。

また、令和6年度に地方公営企業会計に移行したため、経営戦略の改定や維持管理費に見合った下水道使用料の見直しについての検討を行い、一般会計からの繰入に依存している状況からの改善を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。